

お・葬・式 便・利・帳

喪家様用
(ご葬儀の流れ)



宣伝部長「キンタン」

目次

I. ご葬儀の流れ

II. よくある質問

I. ご葬儀の流れ

① 「もしも」の前に・・・事前のご相談



② ご臨終



③ ご遺体移送



④ ご遺体のご安置と枕飾り



⑤ お打ち合せ



⑥ 納棺



⑦ 出棺



⑧ 火葬



⑨ お通夜



⑩ ご葬儀



⑪ 取越法要



⑫ 埋骨



⑬ 精進落とし



⑭ ご葬儀後のこと

ご葬儀の流れ

① 「もしも」の前に・・・事前のご相談

○事前に確認・準備しておくこと

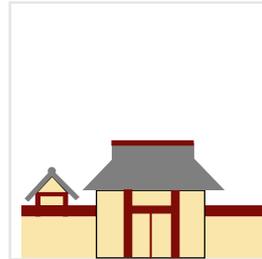
- 菩提寺(教会・神社)とその連絡先(電話番号)



- 宗教、宗派

宗教には、仏式・神式・キリスト教から無宗教まであり、同じ宗教でもさまざまな宗派があります。宗教・宗派によりお飾りのしかた・作法が異なります。

- ご葬儀を行なう場所



- 喪主

- 家族・親戚、会社・友人・団体などの連絡先(電話番号)



- 祭壇にお飾りする写真



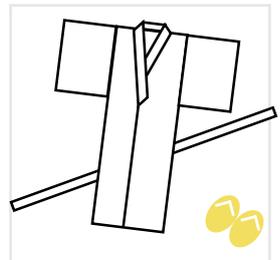
※ご家紋

御遺影を作成する際に喪服への家紋入りをご要望される場合のみ必要となります。

- お棺に納めたい品

ご本人が愛用されていたり、ご家族様がぜひ旅立ちに持参させたい品等。

- 一般弔問・会葬者の予測



- お部屋の整理

故人様をご安置し、親戚をお迎えできるように部屋を整えます。



喪家様用

I. ご葬儀の流れ

② ご臨終

まずは弘前典礼までご連絡ください。

0172-34-0167 24時間 365日 受付

ご葬儀は突然のこと。

ご遺族様は大きな悲しみに包まれながらも、同時に様々なことを決めなければなりません。

『どうしていいのかわからない』という状況に陥ってしまわれる場合がほとんどです。

こうした状況に乗じてお葬式をお金儲けの道具と考える心無い葬儀業者が残念ながらおります。

サービスに釣り合わない高額な請求をしたり、ご遺族様の気持ちを踏みにじったりということが起こったりしています。

弘前典礼は、ご遺族様の立場で『まじめに、ご納得いただけるご葬儀を・・・』を前提にご対応させていただいております。

I. ご葬儀の流れ

② ご臨終

ご自宅で亡くなられた場合

ただちに主治医に連絡し、死亡を確認後、死亡診断書を発行してもらいます。
主治医にどうしても連絡がとれない場合は、110番をして警察医を呼びます。
医師によって自然死が確認されるまでは、ご遺体を動かしてはいけません。

- これらの確認の後、弘前典礼までお電話ください。寝台車にてお迎えにお伺い致します。
- ご自宅でのご安置となる場合は、枕飾りなどをお持ちさせていただき、故人様をご安置させていただきます。
- ご自宅以外でのご安置をご希望される場合は、弊社施設をご案内させていただきます。



孤独死の場合も同様です

110番 警察へ電話します。

近年、核家族化進展などを背景に、ご自宅で孤独死されるというケースがあります。ご自宅で孤独死され、亡くなられてから何日も発見されずに痛ましい姿となって立ち会われたご遺族様からのお問合せがございます。

- 孤独死、自殺、他殺を問わず、警察を呼びます。
- 上記同様、ご遺体に触れてはいけません。『検死』が行われます。
- 死因が不明な場合は、解剖などにより死因を特定します。
- 検死後に弊社までお電話ください。寝台車にてお迎えにお伺い致します。

I. ご葬儀の流れ

② ご臨終

病院で亡くなられた場合

病院担当者の方に「弘前典礼」とお伝えください。

- 病院で亡くなられた場合、看護師より処置が施されます。
- 主治医に死亡診断書を発行してもらいます。
- 病院の霊安室に移されますので、なるべく早く、ご自宅か弊社施設へ搬送致します。

弊社へご連絡いただければ寝台車にてお迎えにお伺い致します。

注意！！

病院で亡くなられた場合、寝台車の手配は病院がしてくれるものだと思いついでおられる方がいらっしゃいますが、それは誤りです。基本的に病院と葬儀社が連携、提携しているということは法律で認められておりません。

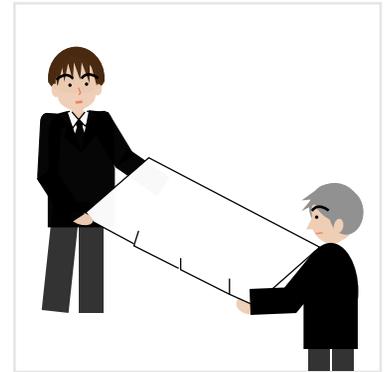


I. ご葬儀の流れ

③ ご遺体移送

弘前典礼にお任せ下さい

病院で亡くなられた場合、ご遺体をご自宅など、所定のご安置場所までなるべく早く搬送しなくてはなりません。
また、病院の外へご遺体を運ぶには、医師の書いた「死亡診断書」が必要ですし、ご遺体をご安置する場所ではご遺族の方にお出迎えいただくのが望ましいです。



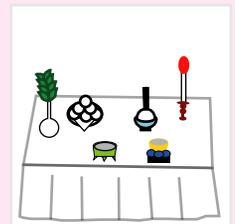
④ ご遺体のご安置と枕飾り

○お迎えの準備をします。

- 故人様をご安置する部屋を決めてお掃除します。
- 故人様を寝かせる為の布団や枕を用意します。
- 枕飾りをします。弘前典礼にお任せ下さい

枕飾りとは

死後、ご遺体をご安置した後に、ご遺体の前を荘厳(しょうごん)すること。このほか浄水や白いご飯(または団子)を供えたりすることもある。



○菩提寺へ連絡します。

○お寺様に枕経をあげていただきます。

枕経とは

故人様の枕もとで終夜読経(とぎょう)すること。特に、納棺前に経をあげる事。

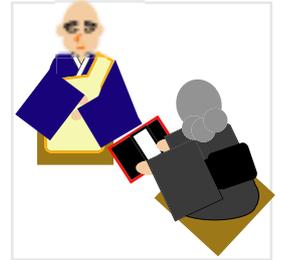


I. ご葬儀の流れ

⑤ お打合わせ

○お寺様とのお打合わせ

- くわしい葬儀日程
- 喪主様の名
- お寺様の人数・戒名や法名の相談
- お布施(お寺に支払う費用)について
- お寺様の送迎について



○弊社とのお打合わせ

- 枕飾り供物依頼の有無
- 死亡診断書の届出(火葬許可証)
- 死亡広告の有無
- 斎場(火葬場)での供物等の依頼
- 各種印刷物の有無
- お通夜での必需品の依頼
- お葬儀での必需品の依頼
- 法事料理等の依頼
- 祭壇ランクの決定



○故人様に縁のある方々へ連絡

●身近な人から連絡

1. 家族
2. 近親者(血筋の濃い親族)
3. 特に親しい友人・知人
4. 勤務先や学校

※事前に連絡リストを作成しておく事をお薦めします。

●連絡の方法

故人様の氏名、故人様のいらっしゃる場所、電話番号を知らせ、お通夜、お葬儀の日時を伝えます。

※ご葬儀の日時等が決まってから連絡されると良いでしょう。



弘前典礼にお任せ下さい

○死亡診断書を市町村役場に提出

(弊社が代行いたします)

○扉を閉め半紙に×を書き正面に貼り、忌明け

までの神棚封じ

○遺影用写真の用意



I. ご葬儀の流れ

⑥ 納棺

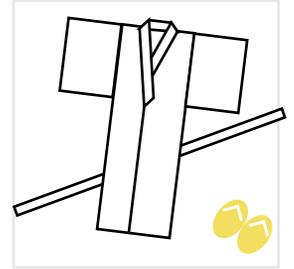
弘前典礼にお任せ下さい

○納棺の儀

仏式の場合、お棺に納める前に故人様を湯で拭いて清めます。

●身支度を整えます。

仏式では経帷子、神式では白い小袖などを着せます。
男性の場合、ひげを剃り、女性の場合は髪を整え薄化粧をします。



湯灌の儀

ご家族様のご要望に応じて湯灌（ゆかん）もさせていただきます。

弘前典礼では、ご遺族様が故人様に「こうしてあげたい」という想いを大切に、少しでも安らかに、そして穏やかなお気持ちでお過ごしいただけますよう心がけております。

納棺師より

納棺のお時間は、ご遺族様と故人様の大切なひとときです。だからこそ、ご遺族様の皆様とともに故人様に感謝の気持ちを込めたお支度をさせていただきたいと私たちは考えます。長年暮らしたご家族との思い出に「ありがとう」の心を伝える時。私たちはそのお手伝いをさせていただきます。

湯灌

仏葬で、ご遺体を棺に納める前に湯水でぬぐい清めること。

I. ご葬儀の流れ

⑦ 出棺

弘前典礼にお任せ下さい

○出棺の儀

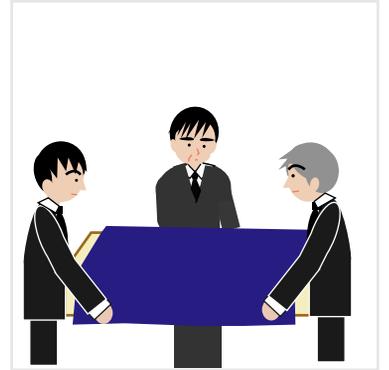
●最後のお別れ

生花や故人様の愛用品等、係員が確認した後お棺に納めます。

●釘打ち

喪主様から始めて故人様とのつながりの深い順に打つのがしきたりです。

※出棺30分前に弊社係員がお伺いをし、出棺の儀の後、ご出発いたします。



⑧ 火葬

○火葬場へ向かいます。

○火葬場の事務室へ火葬許可証を提出します。

○火葬炉の前でお寺様の読経と焼香があります。

○遺族、参列者の順に焼香します。

○火葬されている間、控室にて待ちます。

○火葬が終わると、斎場職員の指示により収骨室に集まり遺骨を拾います。

※一般的には木のお箸でお骨を拾い、骨箱に入れます。

全員が終わると、斎場職員が残る全てを骨箱に入れます。

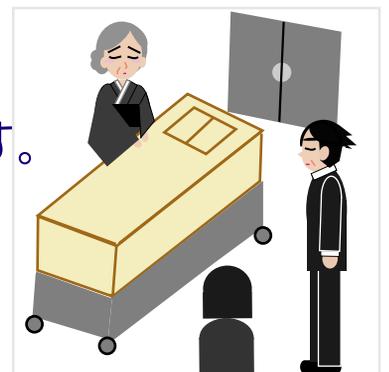
○斎場から遺骨を持ち帰ります。

○塩を肩にふりかけ、手を洗います。

又はうがいをします。

(浄土真宗では行いません)

○仮祭壇に遺骨を安置し、灯明をつけ、線香をあげ、仏膳を備えます。



I. ご葬儀の流れ

⑨ お通夜

弘前典礼にお任せ下さい

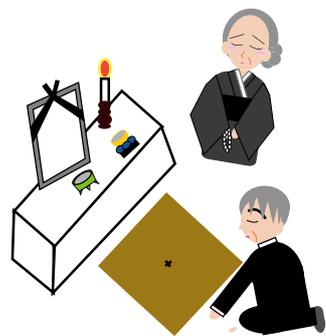
○お通夜の準備

- 御遺骨・御遺影・仮位牌を持ちます。
- 1時間30分前までに式場へ入ります。

○ご供花・お供物を並べます。

ご供花・お供物は、近親者、仕事関係者、友人、知人というように故人様と関係の深い順に並べます。菓子折りなどは祭壇脇の左右に並べます。

※並べ替えが必要な場合、係の方は早めに式場において下さい。



⑩ ご葬儀

弘前典礼にお任せ下さい

○ご葬儀の準備

- 御遺骨・御遺影・仮位牌を持ちます。
- 1時間30分前までに式場へ入ります。

- 弔辞の読み上げ
- 弔電の読み上げ
- 指名焼香



I. ご葬儀の流れ

⑪ 取越法要

○中陰法要

仏家の説では人が亡くなった後、極善のものは善所に生まれ、極悪の者は悪所に生まれるが、善所の定まらない者は善悪の軽重に従い、七日毎に転生し、七七日(四十九日)になると他所に生まれるといわれています。このため死者の後生を願って仏事を修めれば悪所に生まれる者も、善所に至ることを得るという観念の元に供養し法要を営みます。

⑫ 埋骨

※冬季間は埋骨できない場合がございますので、事前に確認しておきましょう。

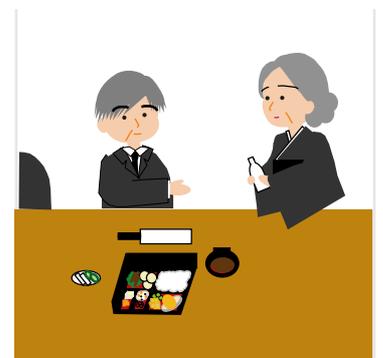
- 遺骨をお墓の中に安置します
- 供物を備えます
- お寺様の読経の間に、遺族、近親者が次々に焼香します



⑬ 精進落とし

葬儀の間にお世話になった方やその他多忙の中を手伝ってくれた人々に対して、労をねぎらい、感謝の意味をこめて、酒や料理を振舞います。

- 席礼を依頼したか確認しておきます
- 席順やお膳の配置を前もって確認しておきます



I. ご葬儀の流れ

⑭ ご葬儀後の行事と手続き

ご葬儀が終わり、一息つく間もなく多忙な日々が続きます。そんな時だからこそ弊社にご相談ください。

○挨拶回り

ご葬儀後、隣近所や、お世話になった方へお礼の挨拶をします。

○香典帳の整理

香典帳および香典を五十音順にリストを作成し、整理します。

○葬儀費用や諸経費等の精算

○各役所等への手続き

支給される葬祭費(国保)や埋葬料(社保)の手続き、年金・名義変更など、各種手続きをします。

○お礼状

弔電やお供物をいただいた方には、お礼状を出した方がよいでしょう。

○返礼品の準備

お世話になった方々や高額な香典をいただいた方へ、お礼品を準備します。

○本位牌の準備

忌明けもしくは四十九日までに、塗りの位牌を用意し、白木の位牌と取り替えます。

○仏壇の準備

仏壇のない方は、忌明けもしくは四十九日までに用意し、塗り位牌と共に御本尊に魂入れをします。

○墓の準備

○忌明け法要(早めの準備をおすすめします。)

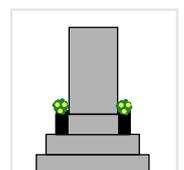
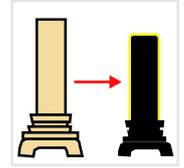
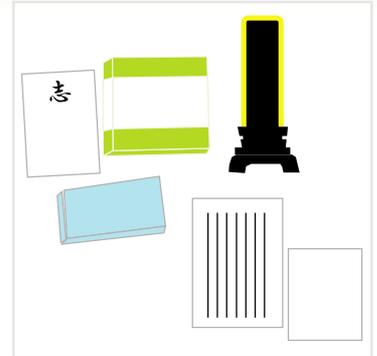
- ・お寺に連絡し、日程などを決めます。
- ・場所・日時・内容などを決めます。
- ・出席人数など、早めに確認と準備をします。
- ・必要な場合は、通知状を手配します。
- ・料理・引出物などの手配をします。
- ・仏壇・墓石をきれいにします。

○故人の諸整理

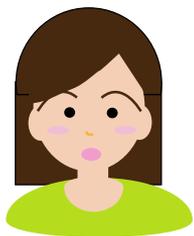
遺品の整理をし、形見分けなど、一応の片付けをします。身分証明書、保険証、運転免許証などの返却をします。

○喪中はがきの用意

年末(10月~12月)には、年賀欠礼状のはがきを出します。



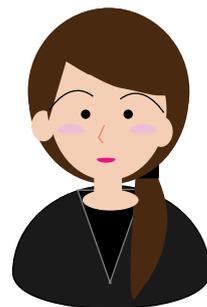
Ⅱ. よくある質問



Q. お葬式のことを相談するのは不謹慎のように思われそう・・・

A. 不謹慎にはあたりません。

核家族化の進展や、ご近所・親戚との付き合いの希薄化、介護・医療費負担の増大等、経済的不安を背景にご葬儀に関する「事前相談」が確実に増えてきております。
お気軽に弊社にお立寄り下さい。



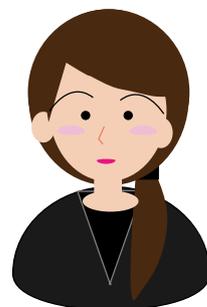
Q. もしもの時、葬儀社にやってもらえる事、自分でやらなければならない事は？

A. 弘前典礼は病院へのお迎えから葬儀終了までの全てをお手伝いさせていただきます。

もしもの時は弘前典礼までご連絡ください。
できる限りお手伝いさせていただきます。

ただし以下の項目については、ご遺族様にてお手続き等をお願いさせていただきます。

- 病院からの診断書のお取り受け
- 役所への届出
(ご要望に応じて、弊社でも手続きを代行させていただきます。)
- 菩提寺(教会等)、親戚、会社、町内等へのご連絡
- 遺影用写真の選択
- 家紋のご確認
- 宗教・宗派のご確認
- 菩提寺(教会等)の連絡先のご確認
※お寺様とのお付き合いがない場合はご相談ください。



Ⅱ. よくある質問



Q. 葬儀費用が「高い」「安い」ってどういうこと？
いくらぐらいが必要なの？

A. ご葬儀の仕方によっては安くも高くもなります。

全国の葬儀費用平均は150万円。お客様のご要望によって葬儀費用は安くも高くもなります。弊社では安心してご葬儀を行なっていただく為に、お客様にとって必要なサービスとは何か？

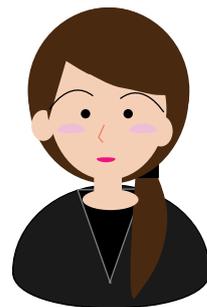
それぞれの状況にあわせ、ムリ・ムダ・ムラがないよう、アドバイスさせていただき、事前に明瞭なお見積りをご提示させていただきます。

ワンポイント

宗派によってもご葬儀に必要なものは異なります。

弊社では宗派ごとにご遺族様にとって必要なもの、 unnecessaryなものをアドバイスさせていただいております。

※ unnecessaryなサービス項目は省かせていただいております。



Q. 葬儀業者から積立を勧められるが・・・

A. 慎重に考えたいうえでどうすればいいか決めましょう。

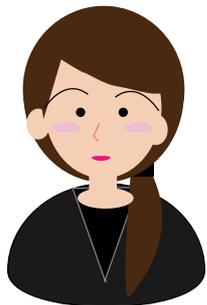
葬儀業者がいう「積立(月掛け)」は銀行や郵便局の積立とは全く別のものです。『万が一に備えて・・・』という勧誘文句だと思いたしますが、掛けている途中で亡くなられた時は、残りを葬儀代と一緒に払わなければならないわけですし、満期になっても銀行積立のように利息がつくこともありません。満期後の解約も手数料がかかります。もちろんお布施などにも使用できません。

葬儀というのは決して安い商品ではありません。熱心に勧められたからといって、軽い気持ちで考えず、慎重に考えたいうえでどうするかを決めましょう。

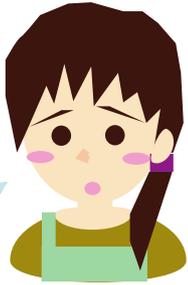
ワンポイント

ご葬儀、慌てることのない備えを

弊社オリジナル会員制度「たまゆらの会」では、盛籠・盛花や神仏具、会館使用料金の割引等、会員様だけのお得な特典をご用意させていただいております。



Ⅱ. よくある質問



Q. 身内だけでこじんまりと、費用もある程度抑えたい。
最近、ちまたでよく聞く「家族葬」にしたいと考えています。

A. 言葉のイメージから「家族葬」を選ばれるとかえってご負担が増えてしまう場合があります。

まずは、弘前典礼にご相談ください。

「家族葬」を執り行う場合、あらかじめ、町内の方々へ身内だけで送りたい旨をお伝えします。

ただ、人付き合いの深い地域などでは、戸惑われる方が多く、予想外の対応に追われたりすることとなりかねません。

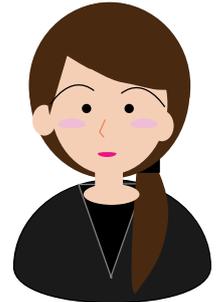
○ご葬儀の終わった後に故人様の知り合いが家に各々弔問に見え、その都度、対応に追われた。

○葬儀費用を抑えるつもりで、家族葬を選択したのに、一般葬と比べて香典の金額が減ることへの認識がなかった為に、実質の費用負担が増えてしまった。

などはよくあることです。

家族葬にはメリット。デメリットがあります。

「その時のとまどい」を減らすための「ご準備」がありますので事前に弊社までご相談ください。



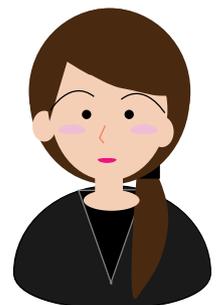
Q. 友人、会社、近所の方への連絡はいつしたらいいですか？

A. ご葬儀の日程、時間が決まってから連絡されると良いかと思えます。

日程が未定の段階でお知らせするのは、混乱を招く恐れがあるので、ご葬儀の日時、場所等が決まってから連絡していただければ良いかと思えます。

ただし、中には親族よりも深い関係をもたれている方もいるかと思えますので全ての方に該当するわけではありません。

やむを得ない理由から、ご葬儀の参列者を制限するような場合(家族葬など)は、ご葬儀に参列していただく方のみ連絡を行い、他の方にはご葬儀が終わってから死亡通知を郵送し逝去の報告をおこないます。



Ⅱ. よくある質問



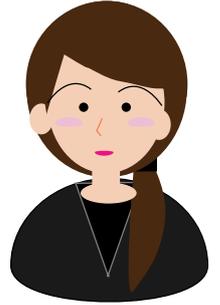
Q. 知らせなければいけない人に、知らせるのを忘れてしまった
・・・

A. 後日、ハガキや封書でお知らせしても大丈夫。

「もしも」の時、ご葬儀までは十分な時間ありません。
混乱の中、こんな失礼をしてしまうことも・・・

こんな時は、後日ハガキや封書でお知らせしても大丈夫です。事情を説明して理解を得ましょう。

ただ、この場合「香典」の催促とわれてしまうこともあります。急ぐ必要がなければ年末の喪中通知でお知らせしてもよいでしょう。



ワンポイントアドバイス

エンディングノートの活用

このようなトラブルを防ぐためにも「もしも」の時に知らせてもらいたい相手の名簿を元気な時に作成しておくのが一番です。最近は「エンディングノート」と呼ばれるものが本屋さんでも売られていて、知らせて欲しい人の名簿を書く欄や自分のご葬儀についての希望などを書く欄があります。それらを利用するとよいでしょう



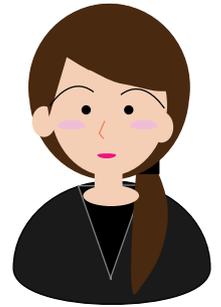
弊社では「エンディングノート」をご用意させていただいております。
お気軽にお声をかけてください。

Ⅱ. よくある質問



Q. お布施の額をお寺様に尋ねるのは失礼にあたりますか？

A. お布施の額をお寺様に尋ねることは、失礼にはあたりません。
そのままお聞きになられて大丈夫です。



Q. お布施を渡すタイミングを教えてください。

A. ご葬儀終了後、お斎が始まる前にお渡しになられる方が多いよう
です。

